

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Shadowing I		国際英米学科/1年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	72回	3単位(72時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
英語資格試験(英検、TOEIC)で求められるリスニング力、リーディング力、スピーキング力を身に着けるための授業である。Shadowingのトレーニングを通して、母語なまりなどの発音を改善する。また、連結などの実際の音韻現象の習得、ストレス、抑揚、リズム、ポーズなどの改善・向上を狙う。最終的に学習者は音声認識(音がわかる)と意味認識(内容を把握できる)ができる英語の基礎回路を作ることを目指す。				
授業終了時の到達目標				
1. 英語の正しい発音・イントネーションを身に着ける 2. リスニング力・スピーキング力の向上				
回	テーマ	内容		
1	About class	授業の流れについて		
2	Lesson 1 ハンバーガーショップで	トレーニング①		
3	Lesson 1 ハンバーガーショップで	トレーニング②		
4	Review			
5	Quiz 1			
6	Lesson 2 Welcome Aboard	トレーニング①		
7	Lesson 2 Welcome Aboard	トレーニング②		
8	Lesson 2 Welcome Aboard	トレーニング③		
9	Review			
10	Quiz 2			
11	Lesson 3 Halloween	トレーニング①		
12	Lesson 3 Halloween	トレーニング②		
13	Review			
14	Quiz 3			
15	Review			

回	テ ー マ	内 容
16	Quiz 4	
17	Lesson 3 Halloween	トレーニング③
18	Lesson 3 Halloween	トレーニング④
19	Lesson 3 Halloween	トレーニング⑤
20	Review	
21	Quiz 5	
22	Lesson 4 Ainu	トレーニング①
23	Lesson 4 Ainu	トレーニング②
24	Lesson 4 Ainu	トレーニング③
25	Review	
26	Quiz 6	
27	Lesson 4 Ainu	トレーニング④
28	Lesson 4 Ainu	トレーニング⑤
29	Lesson 5 The United Kingdom	トレーニング①
30	Review	
31	Quiz 7	
32	Lesson 5 The United Kingdom	トレーニング②
33	Lesson 5 The United Kingdom	トレーニング③
34	Lesson 5 The United Kingdom	トレーニング④
35	Review	

回	テ ー マ	内 容
36	Quiz 8	
37	Lesson 5 The United Kingdom	トレーニング⑤
38	Lesson 6 Gestures Talk	トレーニング①
39	Lesson 6 Gestures Talk	トレーニング②
40	Review	
41	Quiz 9	
42	Lesson 6 Gestures Talk	トレーニング③
43	Lesson 6 Gestures Talk	トレーニング④
44	Lesson 6 Gestures Talk	トレーニング⑤
45	Review	
46	Quiz 10	
47	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング①
48	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング②
49	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング③
50	Review	
51	Quiz 11	
52	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング④
53	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング⑤
54	Lesson 7 Good for the Earth	トレーニング⑥
55	Review	

回	テ ー マ	内 容		
56	Quiz 12			
57	Lesson 8 The Hot Dog	トレーニング①		
58	Lesson 8 The Hot Dog	トレーニング②		
59	Lesson 8 The Hot Dog	トレーニング③		
60	Review			
61	Quiz 13			
62	Lesson 8 The Hot Dog	トレーニング④		
63	Lesson 8 The Hot Dog	トレーニング⑤		
64	Review			
65	Quiz 14			
66	Lesson 9 Here Comes the Elephant Train!	トレーニング①		
67	Lesson 9 Here Comes the Elephant Train!	トレーニング②		
68	Lesson 9 Here Comes the Elephant Train!	トレーニング③		
69	Review			
70	Quiz 15			
71	Lesson 9 Here Comes the Elephant Train!	トレーニング④		
72	Lesson 9 Here Comes the Elephant Train!	トレーニング⑤		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 英会話・ぜったい音読 入門編 / 集英社、 2. 英検準2級 文で覚える単熟語 / 旺文社		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Shadowing II		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	56回	2単位(56時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
Shadowing I の発展科目である。英語資格試験(英検、TOEIC)で求められるリスニング力、リーディング力、スピーキング力を身に着けるための授業である。Shadowingのトレーニングを通して、母語なまりなどの発音を改善する。また、連結などの実際の音韻現象の習得、ストレス、抑揚、リズム、ポーズなどの改善・向上を狙う。最終的に学習者は音声認識(音がわかる)と意味認識(内容を把握できる)ができる英語の基礎回路を作ることを目的とする。				
授業終了時の到達目標				
1. 英語の正しい発音・イントネーションを身に着ける 2. リスニング力・スピーキング力の向上				
回	テーマ	内 容		
1	検定リスニング問題	トレーニング 1		
2	検定リスニング問題	トレーニング 2		
3	検定リスニング問題	トレーニング 3		
4	検定リスニング問題	トレーニング 4		
5	検定リスニング問題	トレーニング 5		
6	検定リスニング問題	トレーニング 6		
7	検定リスニング問題	トレーニング 7		
8	検定リスニング問題	トレーニング 8		
9	検定リスニング問題	トレーニング 9		
10	検定リスニング問題	トレーニング 10		
11	検定リスニング問題	トレーニング 1		
12	検定リスニング問題	トレーニング 2		
13	検定リスニング問題	トレーニング 3		
14	検定リスニング問題	トレーニング 4		
15	検定リスニング問題	トレーニング 5		

回	テ ー マ	内 容
16	検定リスニング問題	トレーニング 6
17	検定リスニング問題	トレーニング 7
18	検定リスニング問題	トレーニング 8
19	検定リスニング問題	トレーニング 9
20	検定リスニング問題	トレーニング 10
21	検定リスニング問題	トレーニング 1
22	検定リスニング問題	トレーニング 2
23	検定リスニング問題	トレーニング 3
24	検定リスニング問題	トレーニング 4
25	検定リスニング問題	トレーニング 5
26	検定リスニング問題	トレーニング 6
27	検定リスニング問題	トレーニング 7
28	検定リスニング問題	トレーニング 8
29	検定リスニング問題	トレーニング 9
30	検定リスニング問題	トレーニング 10
31	検定リスニング問題	トレーニング 1
32	検定リスニング問題	トレーニング 2
33	検定リスニング問題	トレーニング 3
34	検定リスニング問題	トレーニング 4
35	検定リスニング問題	トレーニング 5

回	テ ー マ	内 容
36	検定リスニング問題	トレーニング 6
37	検定リスニング問題	トレーニング 7
38	検定リスニング問題	トレーニング 8
39	検定リスニング問題	トレーニング 9
40	検定リスニング問題	トレーニング 10
41	検定リスニング問題	トレーニング 1
42	検定リスニング問題	トレーニング 2
43	検定リスニング問題	トレーニング 3
44	検定リスニング問題	トレーニング 4
45	検定リスニング問題	トレーニング 5
46	検定リスニング問題	トレーニング 6
47	検定リスニング問題	トレーニング 7
48	検定リスニング問題	トレーニング 8
49	検定リスニング問題	トレーニング 9
50	検定リスニング問題	トレーニング 10
51	検定リスニング問題	トレーニング 1
52	検定リスニング問題	トレーニング 2
53	検定リスニング問題	トレーニング 3
54	検定リスニング問題	トレーニング 4
55	検定リスニング問題	トレーニング 5

回	テーマ	内 容		
56	検定リスニング問題	トレーニング 6		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
2. 英検 2 級	過去 6 回全問題集 / 旺文社。	出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	県内大手小売業者 や海外のリゾート ホテルで英語で接客業を担当していたので、実際に現場で使える英語を



## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Reading/Writing I		国際英米学科/1年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	70回	3単位(70時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>本講座は英語を運用する際の基礎となる英語の基本的事項(文法・語彙)を習得することを目的とする。特に文法は全ての技能の基礎となる知識なので正確な理解が求められる。この講義で学ぶ文法はそこまで難しくなく基礎的なもの(中学初級～中級レベル)とする。また、基礎文法を習得した後は英語のもう一つの基礎となる語彙を講義やミニテストなどを通じて身に付けてもらう。そして、身に付けた文法と語彙を実際に運用してもらえようGraded readersや英検の過去問を使用する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文法や簡単な語彙を用いて自分の意見を簡単に言える・書けるようになる。</li> <li>長文を読んで内容を理解できる</li> </ol>				
回	テーマ	内 容		
1～ 2	Unit 1	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
3～ 4	Unit 1	Reading 2		
5～ 6	Unit 1	Vocabulary		
7～ 8	Unit 1	Grammar & Draft 1		
9～ 10	Unit 1	Revise writing Draft 2		
11～ 12	Unit 1	Submit Final writing		
13～ 14	Unit 2	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
15～ 16	Unit 2	Reading 2		
17～ 18	Unit 2	Vocabulary		
19～ 20	Unit 2	Grammar & Draft #1		
21～ 22	Unit 2	Revise writing Draft #2		
23～ 24	Unit 2	Final writing		
25～ 26	Unit 3	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
27～ 28	Unit 3	Reading 2		
29～ 30	Unit 3	Vocabulary		

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Unit 3	Grammar & Draft 1		
33~ 34	Unit 3 :	Draft 2		
35~ 36	Unit 3	Final writing		
37~ 38	Unit 4	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
39~ 40	Unit 4	Reading 2		
41~ 42	Unit 4	Vocabulary		
43~ 44	Unit 4	Grammar & Draft 1		
45~ 46	Unit 4	Draft 2		
47~ 48	Unit 4	Final writing		
49~ 50	Unit 5	Extensive reading : 1.0 - Reading 1		
51~ 52	Unit 5	Reading 2		
53~ 54	Unit 5	Vocabulary		
55~ 56	Unit 5	Grammar & Draft1		
57~ 58	Unit 5	Draft 2		
59~ 60	Unit 5	Final writing		
61~ 62	Unit 6	Extensive reading : 1.0 - Reading 1		
63~ 64	Unit 6	Reading 2		
65~ 66	Unit 6	Vocabulary		
67~ 68	Unit 6	Grammar & draft 1		
69~ 70	Unit 6	Draft2		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. Q. Skills for Success 2. 英検過去問、 3. 多読本 (Graded Readers)		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	Your grade is based on your final writing on each unit.

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Reading/Writing II		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	56回	2単位(56時間)	必須	安仁屋クリスティーナさくら
授業の概要				
<p>本講座は英語を運用する際の基礎となる英語の基本的事項(文法・語彙)を習得することを目的とする。特に文法は全ての技能の基礎となる知識なので正確な理解が求められる。この講義で学ぶ文法はそこまで難しくなく基礎的なもの(中学初級～中級レベル)とする。また、基礎文法を習得した後は英語のもう一つの基礎となる語彙を講義やミニテストなどを通じて身に付けてもらう。そして、身に付けた文法と語彙を実際に運用してもらえるようGraded readersや英検の過去問を使用する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文法や簡単な語彙を用いて自分の意見を簡単に言える・書けるようになる。</li> <li>長文を読んで内容を理解できる</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1～ 2	Reading & Writing 発展問題			
3～ 4	Reading & Writing 発展問題			
5～ 6	Reading & Writing 発展問題			
7～ 8	Reading & Writing 発展問題			
9～ 10	Reading & Writing 発展問題			
11～ 12	Reading & Writing 発展問題			
13～ 14	Reading & Writing 発展問題			
15～ 16	Reading & Writing 発展問題			
17～ 18	Reading & Writing 発展問題			
19～ 20	Reading & Writing 発展問題			
21～ 22	Reading & Writing 発展問題			
23～ 24	Reading & Writing 発展問題			
25～ 26	Reading & Writing 発展問題			
27～ 28	Reading & Writing 発展問題			
29～ 30	Reading & Writing 発展問題			

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Reading & Writing 発展問題			
33~ 34	Reading & Writing 発展問題			
35~ 36	Reading & Writing 発展問題			
37~ 38	Reading & Writing 発展問題			
39~ 40	Reading & Writing 発展問題			
41~ 42	Reading & Writing 発展問題			
43~ 44	Reading & Writing 発展問題			
45~ 46	Reading & Writing 発展問題			
47~ 48	Reading & Writing 発展問題			
49~ 50	Reading & Writing 発展問題			
51~ 52	Reading & Writing 発展問題			
53~ 54	Reading & Writing 発展問題			
55~ 56	Reading & Writing 発展問題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. Q. Skills for Success 1 2. 英検過去問 3. 多読本 (Graded Readers)		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Listening/Speaking I		国際英米学科/1年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	70回	3単位(70時間)	必須	アンドリュー パンジリナン
授業の概要				
この科目はListening/Speaking I&IIで習得した英語を話す能力をさらに伸ばすことを目的とする。内容としては主として、日常会話やプレゼンテーション、議論などの7倍における話し方に重点を置く。また、効果的なリスニング技法や、多彩な会話場面に対応できるリスニング能力を獲得できるよう、体系的な方法でリスニング力強化を目指す。				
授業終了時の到達目標				
1. 英語で与えられた指示やトピックを理解し、英語を用いてそれに対する自分の意見を言えるようになる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Unit 1	Introduction		
3~ 4	Unit 1	Listening 1		
5~ 6	Unit 1	Vocabulary & grammar		
7~ 8	Unit 1	Listening 2		
9~ 10	Unit 1	Speaking preparation 1		
11~ 12	Unit 1	Speaking preparation 2		
13~ 14	Unit 1	Unit speaking test		
15~ 16	Unit 2	Introduction		
17~ 18	Unit 2	Listening 1		
19~ 20	Unit 2	Vocabulary & grammar		
21~ 22	Unit 2	Listening 2		
23~ 24	Unit 2	Speaking preparation 1		
25~ 26	Unit 2	Speaking preparation 2		
27~ 28	Unit 2	Unit speaking test		
29~ 30	Unit 3	Introduction		

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Unit 3	Listening 1		
33~ 34	Unit 3	Vocabulary & grammar		
35~ 36	Unit 3	Listening 2		
37~ 38	Unit 3	Speaking preparation 1		
39~ 40	Unit 3	Speaking preparation 2		
41~ 42	Unit 3	Unit speaking test		
43~ 44	Unit 4	Introduction		
45~ 46	Unit 4	Listening 1		
47~ 48	Unit 4	Vocabulary & grammar		
49~ 50	Unit 4	Listening 2		
51~ 52	Unit 4	Speaking preparation 1		
53~ 54	Unit 4	Speaking preparation 2		
55~ 56	Unit 4	Unit speaking test		
57~ 58	Unit 5	Introduction		
59~ 60	Unit 5	Listening 1		
61~ 62	Unit 5	Vocabulary & grammar		
63~ 64	Unit 5	Speaking preparation 1		
65~ 66	Unit 5	Speaking preparation 2		
67~ 68	Unit 5	Unit speaking test		
69~ 70	Unit 5	Unit speaking test		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Q. Skills for Success Listening & Speaking		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Listening/Speaking II		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	56回	2単位(56時間)	必須	J a c o b
授業の概要				
この科目はListening/Speaking I&IIで習得した英語を話す能力をさらに伸ばすことを目的とする。内容としては主として、日常会話やプレゼンテーション、議論などの7倍における話し方に重点を置く。また、効果的なリスニング技法や、多彩な会話場面に対応できるリスニング能力を獲得できるよう、体系的な方法でリスニング力強化を目指す。				
授業終了時の到達目標				
英語で与えられた指示やトピックを理解し、英語を用いてそれに対する自分の意見を言えるようになる				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	Listening & Speaking発展問題			
3~ 4	Listening & Speaking発展問題			
5~ 6	Listening & Speaking発展問題			
7~ 8	Listening & Speaking発展問題			
9~ 10	Listening & Speaking発展問題			
11~ 12	Listening & Speaking発展問題			
13~ 14	Listening & Speaking発展問題			
15~ 16	Listening & Speaking発展問題			
17~ 18	Listening & Speaking発展問題			
19~ 20	Listening & Speaking発展問題			
21~ 22	Listening & Speaking発展問題			
23~ 24	Listening & Speaking発展問題			
25~ 26	Listening & Speaking発展問題			
27~ 28	Listening & Speaking発展問題			
29~ 30	Listening & Speaking発展問題			

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Listening & Speaking発展問題			
33~ 34	Listening & Speaking発展問題			
35~ 36	Listening & Speaking発展問題			
37~ 38	Listening & Speaking発展問題			
39~ 40	Listening & Speaking発展問題			
41~ 42	Listening & Speaking発展問題			
43~ 44	Listening & Speaking発展問題			
45~ 46	Listening & Speaking発展問題			
47~ 48	Listening & Speaking発展問題			
49~ 50	Listening & Speaking発展問題			
51~ 52	Listening & Speaking発展問題			
53~ 54	Listening & Speaking発展問題			
55~ 56	Listening & Speaking発展問題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Q. Skills and Success 1		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	



## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英検・TOEIC I		国際英米学科/1年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	70回	3単位(70時間)	必須	安仁屋クリスティーナさくら
授業の概要				
英検準2級やTOEIC400点を取得するためにリスニングの対策を中心に進めていく。英検もTOEICもリスニングパートは比較的難易度が低く、高得点も期待できる場所である。多くの問題が類似する単語の置き換え問題であるため、その出題傾向を知って得点力を増すことを目指す。また、目標達成に必要な基礎文法と単語を身に付け、それらの解説のあとは、膨大な量の問題を解いてもらうことになる。英検・TOEIC合わせて500問程度解くことになるため、放課後の時間も学習することが求められる。				
授業終了時の到達目標				
1. TOEIC 5月 - 350点以上 7月 - 400点以上 9月 - 500点以上 12月 - 550点以上 1・2・3月(学科で受験月は異なる) - 600点以上				
2. 英検				
回	テーマ	内容		
1~ 2	TOEIC 5月対策	TOEICとは、今年度の受験日程 英検とは、受験日程 集中講座(Intensive class)について		
3~ 4	TOEIC5月対策	模擬試験(100問1時間)実施		
5~ 6	TOEIC5月対策	模擬試験(2時間通し)実施		
7~ 8	5月結果振り返り	次回へ向けての目標設定・課題設定		
9~ 10	TOEIC 7月対策 10月英検対策	10月英検は全員受験とする(国際英米学科のみ)。 英米は英検2級以上、エアライン・リゾートは準2級以上を 任意受験		
11~ 12	課題への取り組み	課題への取り組み 授業内にできるだけlistening, speaking, reading, writingのリスニングをやる		
13~ 14	課題への取り組み	各自の弱点強化に取り組む。教室を移動してもよい。 4要素(listen, speak, read, write)を入れる。		
15~ 16	課題への取り組み	各自の弱点強化に取り組む。教室を移動してもよい。 4要素(listen, speak, read, write)を入れる。		
17~ 18	課題への取り組み	各自の弱点強化に取り組む。教室を移動してもよい。 4要素(listen, speak, read, write)を入れる。		
19~ 20	課題への取り組み	各自の弱点強化に取り組む。教室を移動してもよい。 4要素(listen, speak, read, write)を入れる。		
21~ 22	7月TOEIC対策へ向けて	TOEIC第2回で全員が400点以上を取得できるようにする		
23~ 24	7月TOEIC対策へ向けて	パート別対策 *Intensive classでは模擬試験を毎日実施		
25~ 26	7月TOEIC振り返り・目標設定・課題 設定	パート別対策 *Summer Schoolで模擬試験を毎日実施		
27~ 28	9月TOEIC対策(エアライン・リゾート) 英検対策(英米)	弱点強化: TOEIC - Listening 300点以上、Reading 200点以上 英検 - Writing, listening, Readingの順に仕上げ		
29~ 30	9月TOEIC対策(エアライン・リゾート) 英検対策(英米)	弱点強化		

回	テ ー マ	内 容		
31～ 32	9月TOEIC対策（エアライン・リゾート） 英検対策（英中）	弱点強化		
33～ 34	9月TOEIC対策（エアライン・リゾート） 英検対策（英中）	弱点強化		
35～ 36	9月TOEIC対策（エアライン・リゾート） 英検対策（英中）	弱点強化		
37～ 38				
39～ 40				
41～ 42				
43～ 44				
45～ 46				
47～ 48				
49～ 50				
51～ 52				
53～ 54				
55～ 56				
57～ 58				
59～ 60				
61～ 62				
63～ 64				
65～ 66				
67～ 68				
69～ 70				
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 英検2級過去6回問題集		出席率	20.0%	
2. TOEICテスト公式問題集 Vol.1 - 4		授業態度	10.0%	
3. TOEIC中学英文法で600点		確認テスト	40.0%	
4. Kikutan TOEIC test score 800		期末試験	30.0%	
5. Kikutan TOEIC test score 500				
6. TOEIC L&R TEST 初心者特急 パート7				

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英検・TOEICⅡ		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	56回	2単位(56時間)	必須	安仁屋クリスティーナさくら
授業の概要				
<p>英検2級やTOEIC500点を取得するためにリーディングパートの対策を中心に進めていく。必要な英文法や単語力の対策を行う。これらの文法事項は“しっかり身に着けておけば、英語運用の際に必要な最低限の英文法の知識は保障される”と言われる範囲である。必要な文法・語彙解説のあとは、膨大な量の問題を解いてもらうことになる。英検・TOEIC合わせて800問程度解くことになるため、放課後の時間も学習することが求められる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>11月 英検2級合格</li> <li>9月 TOEIC 450点取得</li> <li>12月 TOEIC 500点取得</li> </ol>				
回	テーマ	内 容		
1~2	9月TOEIC対策又は英検対策	課題への取り組み 英語の4要素を取り入れた学習を行う。		
3~4	9月TOEIC対策又は英検対策			
5~6	9月TOEIC対策又は英検対策	定期テスト3		
7~8	公式TOEIC Listening&Reading問題集1	パート別対策		
9~10	公式TOEIC Listening&Reading問題集1	パート別対策		
11~12	公式TOEIC Listening&Reading問題集1	パート別対策		
13~14	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	定期テスト4		
15~16	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	定期テスト5 第4回TOEIC対策の集中講座について		
17~18	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	パート別対策		
19~20	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	第5回TOEIC対策について		
21~22	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	パート別対策		
23~24	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	パート別対策		
25~26	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	定期テスト6		
27~28	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	公式問題集は4冊のうちどれを使うか、進捗によって決める。		
29~30	公式TOEIC Listening&Reading問題集2	模擬試験 & 弱点強化		

回	テ ー マ	内 容
31~ 32	公式TOEIC Listening&Reading問題 集2 公式TOEIC Listening & Reading L	模擬試験 & 弱点強化
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		
51		

回	テ ー マ	内 容		
52				
53				
54				
55				
56				
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 英検過去6回シリーズ		出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	20.0%	
2. キクタンシリーズ			10.0%	
3. 公式TOEIC Listening&Reading問題集1			40.0%	
4. 公式TOEIC Listening&Reading問題集2			30.0%	
5. 公式TOEIC Listening&Reading問題集3				

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英会話実践 (OLECO)		国際英米学科/1年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	36回	1単位(36時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>座学であるGrammarの授業をスピーキングという側面から使えるようにするのがこの授業である。また、ターゲットととする文法以外にも、マンツーマンレッスンの強みを生かし、講師との生きた会話も楽しみながら行う授業である。</p>				
授業終了時の到達目標				
文法と発音を強化して、使えることができる。				
回	テーマ	内容		
1	あいさつをしよう②			
2	身近な人についてたずねよう			
3	自分のことや友達について伝えよう			
4	ふだんすることを伝えよう			
5	ふだんするかどうかをたずねよう			
6	指示をしよう			
7	体調をたずねよう			
8	時間をたずねよう			
9	日付や曜日をたずねよう			
10	インタビューをしよう			
11	友達がふだんすることを伝えよう①			
12	友達がふだん何をするかをたずねよう			
13	いつか、どこかをたずねよう			
14	天気、様子、手段などをたずねよう			
15	年齢、長さ、高さをたずねよう			

回	テ ー マ	内 容
16	今、していることを伝えよう	
17	何をしているかをたずねよう	
18	電話をしよう	
19	昨日したことを伝えよう①	
20	先週何をしたかをたずねよう	
21	どこにいたかを伝えよう	
22	天気や感想を伝えよう	
23	したことやその感想をたずねよう、 答えよう	
24	していたことを伝えよう	
25	相手の予定をたずねよう、答えよう	
26	これまでやこれからのことを伝えよう	
27	人や物をどのように呼んでいるか伝えよう	
28	自分の気持ちを伝えよう	
29	何をして楽しむか伝えよう	
30	何をすることが大切か伝えよう	
31	しなければならないことを伝えよう	
32	お願いしよう、してもいいかたずねよう	
33	相手を誘おう、相手に提案しよう	
34	しなければならないことなどを伝えよう	
35	気持ちや知っていることを伝えよう	

回	テ ー マ	内 容		
36	「～がありますか」とたずねよう、 答えよう			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オンライン英会話OLECO。		出席率 授業態度 実習・実技評価	20.0% 10.0% 70.0%	



## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プレゼンテーション		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	48回	1単位(48時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
<p>語学研修で学んだことをまとめ、分析し、発表する。 グループで取り組むためチームワーク、計画性、論理的思考力の向上が求められる。</p>				
授業終了時の到達目標				
英語で伝わるプレゼンテーションができる。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	語学研修振り返り			
3~ 4	調査結果まとめ			
5~ 6	調査結果まとめ 2			
7~ 8	プレゼンテーション作成			
9~ 10	プレゼンテーション作成			
11~ 12	プレゼンテーション作成			
13~ 14	プレゼンテーション作成			
15~ 16	プレゼンテーション作成			
17~ 18	プレゼンテーション作成			
19~ 20	プレゼンテーション作成			
21~ 24	プレゼンテーション作成			
25~ 26	リハーサル			
27~ 28	リハーサル			
29~ 30	リハーサル			
31				

回	テ ー マ	内 容		
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	プレゼンテーション用アプリケーションソフト。	出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
異文化研究		国際英米学科/1年	2023/中, 後学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	54回	2単位(54時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
授業終了時の到達目標				
<p>地元の文化を英語で伝えられるようになる。            海外の地理・文化を学び語学研修の心構えができる。</p>				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Discover Okinawa			
3~ 4	Discover Okinawa			
5~ 6	Discover Okinawa			
7~ 8	Discover Okinawa			
9~ 10	Discover Okinawa			
11~ 12	Discover Okinawa			
13~ 14	Discover Okinawa			
15~ 16	Discover Okinawa			
17~ 18	Discover Okinawa			
19~ 20	Discover Okinawa			
21~ 22	Study tour preparation			
23~ 24	Study tour preparation			
25~ 26	Study tour preparation			
27~ 28	Study tour preparation			
29~ 30	Study tour preparation			

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Study tour preparation			
33~ 34	Study tour preparation			
35~ 36	Study tour preparation			
37~ 38	Study tour preparation			
39~ 40	Study tour preparation			
41~ 42	Study tour preparation			
43~ 44	Study tour preparation			
45~ 46	Study tour preparation			
47~ 48	Study tour preparation			
49~ 50	Study tour preparation			
51~ 52	Study tour preparation			
53~ 54	Study tour preparation			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Discover Okinawa		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	20.0% 10.0% 30.0% 40.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン I		国際英米学科/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	64回	2単位(64時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
この授業では多くのツールや手法を用いて自己分析を実施します。それを通して学生たちは自分にはどのような職業・職種が合っているか考え、2年次からの就職を活動をスムーズに行うための準備をします。また、授業やグループワークを通して社会でどのような人材が求められているか考え、その人材になるために今のうちにどのような具体的な行動をとれるか考え・計画する授業です。				
授業終了時の到達目標				
1. 卒業後の進路(就職・進学・留学)を明確にする 2. 自分に適した職業・職種を明確にする 3. 社会で求められる人材を理解し、そのための具体的なアクションプランを作成できるようになる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BWSの目的・内容を理解する</li> <li>・現時点の卒業後の希望進路を明確にする</li> </ul>		
3~ 4	専門学校について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学科と英米との違いを理解する</li> <li>・専門学校生の過ごし方について理解する</li> </ul>		
5~ 6	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザインについて理解する</li> <li>・将来について考える</li> </ul>		
7~ 8	求められる人材像①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会で求められている人材像」について考える</li> </ul>		
9~ 10	求められる人材像②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会で求められている人材像」について考える</li> </ul>		
11~ 12	求められる人材像③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会で求められている人材像」について考える</li> </ul>		
13~ 14	自己理解①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が自分のことをどのように思っているか(自己概念)を考える</li> </ul>		
15~ 16	自己理解②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己概念を広げていくことの大切さを理解する</li> </ul>		
17~ 18	自己理解③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りが自分のことをどのように思っているかを知る</li> </ul>		
19~ 20	自己分析④ 自分が生きる働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が仕事へのどんなかかわり方を好むかを知る</li> </ul>		
21~ 22	自己分析⑤ 自分にとって心地よい仕事環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな仕事環境で、力を発揮するか知る</li> </ul>		
23~ 24	得意を見つける①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経験から得意を見つける</li> <li>・働くうえでの得意を見つける①</li> </ul>		
25~ 26	得意を見つける②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くうえでの得意を見つける②③</li> <li>・わたしの得意なことまとめ</li> </ul>		
27~ 28	やりたいことを見つける①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の仕事選択の基準を見つける</li> <li>・将来目指したいワークスタイルを見つける</li> </ul>		
29~ 30	やりたいことを見つける②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたいことを軸に働きたい会社を見つける</li> </ul>		

回	テーマ	内 容		
31～ 32	自己PRを作成する①	・わたしの得意を軸にした自己PRを作る		
33～ 34	自己PRを作成する②	・わたしの得意を軸にした自己PRを作る		
35～ 36	志望動機を作成する①	・わたしの得意を軸にした志望動機を作る		
37～ 38	志望動機を作成する②	・わたしの得意を軸にした志望動機を作る		
39～ 40	履歴書の書き方①	基本的な書き方をレクチャー		
41～ 42	履歴書の書き方①	基本的な書き方をレクチャー		
43～ 44	履歴書の書き方①	基本的な書き方をレクチャー		
45～ 46	職業適性①	・自分のやりがいを、満たす可能性の高い仕事を調べる		
47～ 48	職業適性②	・自分が、どんな職業志向を持っているか知る		
49～ 50	職業適性③	・自分が仕事に求めるやりがいや条件		
51～ 52	海外語学研修に向けて①	・語学研修が就職活動や社会人生活 にもプラスになることを理解する		
53～ 54	海外語学研修に向けて②	・就職活動や将来の就職も踏まえて考える		
55～ 56	海外語学研修に向けて③	・モチベーション維持の大切さを理解する		
57～ 58	グループディスカッション	将来なりたい自分について		
59～ 60	プレゼンテーション	将来なりたい自分について		
61～ 62	プレゼンテーション	将来なりたい自分について		
63～ 64	プレゼンテーション	将来なりたい自分について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. BWSオリジナルプリント。 2. 自己分析		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	20.0% 10.0% 30.0% 40.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アプリケーション演習 (Excel)		国際英米学科/1年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	72回	3単位(72時間)	必須	菫谷 将実
授業の概要				
<p>企業で最も利用されるアプリケーションの一つであるMicrosoft Excel2010を使用した、表計算処理の基礎を学びます。 ワークシートへのデータ入力方法、文字列と数値データの違い、数式や関数を用いた計算処理、グラフ作成およびデータベース機能を学びます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>パソコン、表計算処理に関する基礎的な技能を有する サーティファイ主催 Excel表計算処理技能認定試験2級に合格できる技能を有している。</p>				
回	テーマ	内容		
1	導入	Excel検定の重要性・概要・データダウンロード		
2	Chapter1・2 Excelの基本・データの編集	画面構成・画面の操作・セルの選択・新規ブックの作成・データの入力		
3	Chapter2 データの編集	数式の入力・データの移動とコピー・ブックの保存		
4	Chapter2練習問題	Chapter2練習問題を各自実施		
5	Chapter3 表の作成	罫線の設定・セルの書式設定		
6	Chapter3 表の作成	セルの配置・表示形式の設定		
7	Chapter3 表の作成	列幅や行の高さの調整・行や列の挿入と削除		
8	Chapter3練習問題	Chapter3練習問題を各自実施		
9	Chapter4 ブックの印刷	表示モードの切り替え・ページ設定の変更・印刷の実行・印刷範囲の指定		
10	Chapter4練習問題	Chapter4練習問題を各自実施		
11	Chapter5 グラフと図形の作成	グラフの作成・図形の作成		
12	Chapter5練習問題	Chapter5練習問題を各自実施		
13	Chapter6 ブックの利用と管理	ワークシートの管理・ウィンドウの操作		
14	Chapter6練習問題	Chapter6練習問題を各自実施		
15	Chapter7 関数	統計関数・数学/三角関数・論理関数・日付関数		

回	テ ー マ	内 容
16	Chapter7練習問題	Chapter7練習問題を各自実施
17	Chapter8 データベース機能	リストの作成・並べ替え・条件に合ったデータの抽出・小計の挿入
18	Chapter8練習問題	Chapter8練習問題を各自実施
19	総合学習問題①	総合学習問題を各自実施① 不明な部分は個別対応
20	総合学習問題②	総合学習問題を各自実施② 不明な部分は個別対応
21	応用編 Chapter1 データベース機能	データの入力規則・コメントの設定・表示形式（ユーザー設定）・条件付き書式の設定・
22	応用編 Chapter1 データベース機能	名前の定義・データの保護
23	応用編 Chapter1 データベース機能	検索と置換
24	Chapter1練習問題	Chapter1練習問題を各自実施
25	応用編 Chapter2 関数	文字列操作関数・データベース関数
26	応用編 Chapter2 関数	データベース関数
27	応用編 Chapter2 関数	検索/行列関数・数学/三角関数・統計関数
28	応用編 Chapter2 関数	論理関数・日付関数
29	応用編 Chapter2 関数	情報関数
30	Chapter2練習問題	Chapter2練習問題を各自実施
31	応用編 Chapter3 グラフ機能	グラフの拡張・グラフを使ったデータ予測
32	Chapter3練習問題	Chapter3練習問題を各自実施
33	応用編 Chapter4 複数ワークシート上の集計	ワークシートの連携・ワークシート間の集計
34	Chapter4練習問題	Chapter4練習問題を各自実施
35	応用編 Chapter5 データベース	オートフィル・データの並べ替え



回	テ ー マ	内 容
36	応用編 Chapter5 データの抽出	複雑な条件による抽出・小計機能
37	Chapter5練習問題	Chapter5練習問題を各自実施
38	応用編 Chapter6 データの分析	ワークシートの分析・ピボットテーブル
39	応用編 Chapter6 データの分析	値を代入した表の作成・値の予測
40	Chapter6練習問題	Chapter6練習問題を各自実施
41	応用編 Chapter7 処理の自動化	マクロの登録・マクロの実行
42	Chapter7練習問題	Chapter7練習問題を各自実施
43	応用編 総合学習問題①	総合学習問題を各自実施① 不明な部分は個別対応
44	応用編 総合学習問題②	総合学習問題を各自実施② 不明な部分は個別対応
45～ 46	練習問題1①	練習問題1を各自実施① 不明な部分は個別対応
47～ 48	練習問題2①	練習問題2を各自実施① 不明な部分は個別対応
49～ 50	練習問題3①	練習問題3を各自実施① 不明な部分は個別対応
51～ 52	模擬問題1①	模擬問題1を各自実施① 不明な部分は個別対応
53～ 54	模擬問題2①	模擬問題2を各自実施① 不明な部分は個別対応
55～ 56	模擬問題3①	模擬問題3を各自実施① 不明な部分は個別対応
57～ 58	模擬問題4①	模擬問題4を各自実施① 不明な部分は個別対応
59～ 60	練習問題1②	練習問題1を各自実施② 不明な部分は個別対応
61～ 62	練習問題2②	練習問題2を各自実施② 不明な部分は個別対応
63～ 64	練習問題3②	練習問題3を各自実施② 不明な部分は個別対応
65～ 66	模擬問題1②	模擬問題1を各自実施② 不明な部分は個別対応

回	テ ー マ	内 容		
67～ 68	模擬問題2②	模擬問題2を各自実施② 不明な部分は個別対応		
69	模擬問題3②	模擬問題3を各自実施② 不明な部分は個別対応		
70	模擬問題3②	模擬問題3を各自実施② 不明な部分は個別対応		
71	模擬問題4②	模擬問題4を各自実施② 不明な部分は個別対応		
72	模擬問題4②	模擬問題4を各自実施② 不明な部分は個別対応		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2019クイックマスター基本編(ウィ ネット) Excel2019クイックマスター応用編(ウィ ネット)。 Excel表計算処理技能認定試験1・2級問題 集(ウィネット)		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
秘書概論		国際英米学科/1年	2023/前, 中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	54回	2単位(54時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
<p>秘書検定を通して、ビジネスの基本をに見につけ、ビジネスマナー、敬語をマスターする。同時に対人心理の理解、対応の技術、態度・振舞いなどを学びます。                  ジョブパス検定を通して、働く意義を考え、自らの職業観や勤労観の形成、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーションを学び将来の職業人として適応するための知識を習得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会で通用するビジネスの基本を習得し自己成長する</li> <li>2. 秘書検定3級以上合格</li> <li>3. ジョブパス検定3級以上合格</li> </ol>				
回	テーマ	内 容		
1~2	【秘書検定】について 導入	授業の進め方・評価方法・検定の <small>説明実際の問題を解いてみよう(秘書検定の2級)</small>		
3~4	第1章：必要とされる資質	秘書の心構え 秘書に必要な要件		
5~6	第2章：職務知識	秘書の役割の機能 秘書の職務		
7~8	第3章：一般知識	企業の基礎知識 企業の組織と活動		
9~10	第4章：マナー、接遇	人間関係と話し方 話し方、聞き方の応用 <small>電話応対</small>		
11~12	第5章：技能	会議と秘書 ビジネス文書と秘書 <small>文書管理</small>		
13~14	検定対策	過去問題・解答解説		
15~16	検定対策	過去問題・解答解説		
17~18	検定対策	過去問題・解答解説		
19~20	【ビジネス能力検定】について 導入	授業の進め方・評価方法・検定の <small>説明実際の問題を解いてみよう(ジョブパス検定の2級)</small>		
21~22	第1編 ビジネスコミュニケーションの基本	①働く意義 ②仕事への取り組み方		
23~24	第2章 仕事の基本となる8つの意識	①8つの意識 ②顧客意識 <small>③品質意識 納期意識 時間意識</small>		
25~26	第2章 仕事の基本となる8つの意識	④目標意識、協調意識 ⑤改善意識、コスト意識 <small>pp.6-20</small>		
27~28	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本	①コミュニケーションの基本 ②円滑なコミュニケーションのために <small>③コミュニケーションを円滑にするビジネスマナー</small>		
29~30	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本	④社会人としての身だしなみ ⑤感じのよいあいさつ <small>⑥お礼の基本</small>		

回	テーマ	内 容		
31~ 32	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本	⑦ 仕事中の態度と健康管理 ⑧ 出社から退社までと休暇の基本ルール P44-46		
33~ 34	第4章 指示の受け方と報告、連絡、相談	① 指示を受けるポイント ② 報告・連絡の仕方 ③ 連絡・相談の仕方と忠告の仕方		
35~ 36	第5章 話し方と聞き方ポイント	① ビジネスにふさわしい話し方 ② ビジネスの場にふさわしいことばづかい ③ 敬語の種類と必要性		
37~ 38	第5章 話し方と聞き方ポイント	④ 尊敬語と謙譲語のつかい方 ⑤ 聞き方の基本 P60-62		
39~ 40	第6章 来客応対と訪問の基本マナー	① 来客応対の基本 ② 来客応対の流れ ③ 面談の基本マナー		
41~ 42	第6章 来客応対と訪問の基本マナー	④ 名刺交換と紹介の仕方 ⑤ 訪問の基本マナー P70-72		
43~ 44	第7章 会社関係でのつき合い	① 会食のマナーと会食中のコミュニケーション ② 業務終了後のつき合いと冠婚葬祭の基本 確認問題P74-79		
45~ 46	第2編 仕事の実践とビジネスツール	① 仕事は正確かつ計画的に ② 定型業務・非定型業務とマニュアル ③ 効率的・合理的な仕事の進め方		
47~ 48	第1章 仕事への取り組み方	④ スケジュール管理と情報整理 ⑤ パソコンは仕事の基本 ⑥ 電子メール（Eメール）の活用		
49~ 50	第2章 ビジネス文書の基本	① ビジネス文書の役割と書き方 ② ビジネス文書の種類 ③ 社中文書の種類と作成例		
51	第2章 ビジネス文書の基本	④ 社外文書の種類と作成例 ⑤ 社外文書の出し方とわかりやすい文章の基本 ⑥ 電子メール（Eメール）の書き方		
52	第3章 電話応対	① 電話応対の重要性 ② 電話の受け方 ③ 電話のかけ方		
53	第4章 統計・データの読み方・まとめ方	① 表とグラフの役割と待機 ② 表の読み方・まとめ方 ③ データのつくり方と特徴		
54	第5章 情報収集とメディアの活用	① 情報の取捨選択 ② インターネット等からの情報収集 ③ 新聞からの情報収集		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 秘書検定 3級公式テキスト 2. 秘書検定 3級実問題集・ 3. 2022年版ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト 4. 2022年版ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式試験問題集		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスマナー		国際英米学科/1年	2023/前, 中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	54回	2単位(54時間)	必須	儀間 律子
授業の概要				
座学と演習				
授業終了時の到達目標				
ビジネスマナーの基本 敬語をマスターし面接に対応できる能力を身につける				
回	テーマ	内容		
1	ビジネスマナー導入	マナーの重要性		
2	ビジネスマナー導入	マナーの重要性		
3	ホスピタリティと接遇	ホスピタリティとは		
4	仕事に取り組む心構え	学生生活と社会人の違い		
5	マナーの基本	身だしなみのポイント		
6	1. 身だしなみ	おしゃれと身だしなみ		
7	2. 表情	表情の作り方		
8	3. 挨拶	職場での挨拶		
9	4. 基本動作	立つ姿勢、お辞儀の仕方		
10	5. 言葉遣い	敬語の種類		
11	6. 話の仕方、話の聴き方	話の仕方		
12	7. 来客対応	来客対応の基本的な流れ 名刺		
13	8. お茶の出し方	お茶の入れ方、運び方		
14	9. 電話対応の注意点	電話の特性		
15	10. 電話の受け方の基本	電話の受け方フローチャート		

回	テ ー マ	内 容
16	1 1. 伝言メモの作成	伝言メモの作成ポイント
17	1 2. 電話対応あれこれ	苦情電話、道案内、間違い電話
18	1 3. 携帯電話、FAX Eメール	携帯電話、FAX Eメール
19	演習	ロールプレイ実施
20	演習	ロールプレイ実施
21	演習	ロールプレイ実施
22	演習	ロールプレイ実施
23	演習	ロールプレイ実施
24	演習	ロールプレイ実施
25	演習	ロールプレイ実施
26	演習	ロールプレイ実施
27	演習	ロールプレイ実施
28	演習	ロールプレイ実施
29	演習	ロールプレイ実施
30	演習	ロールプレイ実施
31	演習	ロールプレイ実施
32	演習	ロールプレイ実施
33	演習	ロールプレイ実施
34	演習	ロールプレイ実施
35	演習	ロールプレイ実施

回	テ ー マ	内 容		
36	演習	ロールプレイ実施		
37	演習	ロールプレイ実施		
38	演習	ロールプレイ実施		
39	演習	ロールプレイ実施		
40	演習	ロールプレイ実施		
41	演習	ロールプレイ実施		
42	演習	ロールプレイ実施		
43	演習	ロールプレイ実施		
44	演習	ロールプレイ実施		
45	まとめ	ロールプレイ実施		
46	まとめ	ロールプレイ実施		
47	まとめ	ロールプレイ実施		
48	まとめ	ロールプレイ実施		
49	まとめ	ロールプレイ実施		
50	まとめ	ロールプレイ実施		
51	まとめ	ロールプレイ実施		
52	まとめ	ロールプレイ実施		
53	まとめ	ロールプレイ実施		
54	まとめ	ロールプレイ実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
すぐに役立つビジネスマナーTEXT		確認テスト 出席率 授業態度	70.0% 20.0% 10.0%	

シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語表現法演習		国際英米学科/1年	2023/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	64回	2単位(64時間)	必須	棚原 勝也
授業の概要				
相手に伝わる話し方や表現力を身につけ、面接試験や就職後の接客応対に活かす。 実践形式の授業展開を行い、日本語の使い方・言葉の力を学び、正しい日本語を身につける。				
授業終了時の到達目標				
社会人として必要なコミュニケーション技法・能力を身につける。 お客様に対してはもちろん、社員同士での円滑なコミュニケーションが図れるよう、自己表現力を身につける。				
回	テーマ	内 容		
1	イントロダクション①	会話とコミュニケーションの考え方① 授業の内容と進め方について説明。		
2	イントロダクション②	会話とコミュニケーションの考え方②感情は態度に出る。態度を変えれば感情も変わる。		
3	イントロダクション③ 誰のために言葉がある？	会話とコミュニケーションの考え方③「恋」という言葉の語源や意味を知っていますか？		
4	会話の技術を学ぶ①基礎 非言語コミュニケーションを学ぶ	「話す」と「聞く」とはどういうことか？人は「聞く」、時に何を「見ているのか？」		
5	会話の技術を学ぶ②基礎 語る。伝える。会話するとは？	多様なコミュニケーションを学ぶ② 前回授業の続き		
6	会話の技術を学ぶ③基礎 語る。伝える。会話するとは？	相手の言葉に耳を傾ける 共感が会話の基本？言葉に感情を乗せる。		
7	会話の技術を学ぶ④	グループワークで対話とコミュニケーションを鍛える		
8	会話の技術を学ぶ⑤	表現方法を考える？五感を使ってかましますか？ 語彙・オノマトペ等に見る、日本語の多様性		
9	話し方のテクニック① 声を鍛える①	声の作り方(発声・発音・姿勢・TPO)体が声になる。体が感情をつくる		
10	話し方のテクニック② 声を鍛える②	表現力を高める 表現力の意義と必要性。表現力を高めるための練習方法 発生練習を学ぶ。		
11	声を鍛える③ 発声と活舌	表現力を高める 表現力の意義と必要性。表現力を高めるための練習方法		
12	声を鍛える③ 声に「感情」をのせる	朗読「山月記」から「話すこと」「伝えること」について考える。		
13	声を鍛える④	朗読「かわいそうなぞう」で各人の「話し方」をチェックして、改善すべき点を指導する。		
14	声の仕事を学ぶ	声を使った様々な仕事のケースを考える。場面に応じた声の使い方。		
15	コミュニケーション心理学①	ピグマリオン効果や、ゴーレム効果、プラシーボ効果など、コミュニケーションに関わる様々な心理学について、基本的な知識を身につける。		



回	テーマ	内容
16	コミュニケーション心理学②	上記効果についての授業での学びをディスカッションしながら深めていく。
17	プロの条件を考える	社会人とは「その道のプロになること」、ではプロの条件とは何か？
18	「聞くこと」について考える①	これまでの学びの中でコミュニケーションがプロの仕事に 会話は「ドッチボール」ではなく「キャッチボール」、 相手の話を引き出す？人間関係が良好になる、聞くときの「 姿勢」は？
19～ 20	「聞くこと」について考える②	会議での話の聞き方。共感した先にコミュニケーションがあることを学ぶ。
21～ 22	「聞くこと」について考える③	「『聴く』ことの力」「注意を払って聴く耳がキープ」は 好きな人の言葉は「届く」、しかし嫌いな人を好きにならなければいけないのか？ 解決方法は？感動員になること、相手の「格」ではなく相手の
23～ 24	会話術とコミュニケーションを学ぶ①	グループワークで対話を再び実施して、ここまでの達成度を見る
25～ 26	会話術とコミュニケーションを学ぶ②	ここまでの達成度を総点検して、後半の方向性を定める。
27～ 28	コミュニケーション力の磨き方①	コミュニケーションの得意な人、不得意な人とは？コミュニケーション力に必要な3つの力 ①実践力②模倣力③情報収集力
29～ 30	コミュニケーション力の磨き方②	コミュニケーションの主導権は誰にある？視点を変えると、心が軽くなる。
31～ 32	コミュニケーション力の磨き方③	アサーティブコミュニケーションなど、多様なコミュニケーションの考え方を学ぶ
33～ 34	コミュニケーション力の磨き方④	自己開示と聞く力＝質問力が会話の「たね火」になることの基本を再度、見つめ直して 職場で役立つコミュニケーション力を考える
35～ 36	プレゼンテーションの基本プレゼンの目的と要件	プレゼンの際の言葉遣いや、体の使い方、他人に届く言葉やしぐさを学ぶ。プレゼンの目的とは何かを考える。
37～ 38	会話に必要な心の在り方① 体と心の関係が言葉と行動を左右する	人間関係など「悩み」、との向き合い方は？前向きに物事をとらえる考え方の基本とは？
39～ 40	会話に必要な心の在り方②	会話やコミュニケーションは自身の体調の好不調に左右されるもの「いざ」という不調の時、の心構え、自身の心の在り方を考えてみる
41～ 42	会話とコミュニケーションの実践編	5W1H ?いつ (When) どこで (Where) 誰が (Who) 何を (What)
43～ 44	会話とコミュニケーションの実践編	言葉を作るのは心。言葉は行動を変える。行動は習慣を変える。 習慣は性格を変える。性格は人生を変える
45～ 46	会話とコミュニケーションの実践編	面接・会議・友人・家族との会話を考える。
47～ 48	学ぶとは何か？	話す・聴く・伝えるについて5カ月間の振り返りまとめの授業・学びの再確認と上達の最もうまい方法は「考えること」 「喜ぶこと」「学ぶこと」であることを再認識して
49～ 50	情報の受け取り方・処理の仕方を学ぶ	情報の受け取り方情報を受け取る方法について学びます。情報を正しく理解し、適切に処理することができるようになること、相手のコミュニケーションをよりよくするために
51～ 52	自己紹介のブラッシュアップ①	会話とコミュニケーションを学んだ中で、これからやってくる面接等に備え、自己紹介をブラッシュアップ

回	テーマ	内 容		
53～ 54	自己紹介のブラッシュアップ②	会話とコミュニケーションを学んだ中で、これからやってくる面接等に備え、自己紹介をブラッシュアップ		
55～ 56	自己紹介のブラッシュアップ③	会話とコミュニケーションを学んだ中で、これからやってくる面接等に備え、自己紹介をブラッシュアップ		
57～ 58	エピローグ 最終章① これまでの授業のまとめ	授業の内容についてクロストークしながら、会話とコミュニケーションの学びを確認① <small>講義の目的と自身の習熟を確認し、次なる自主学習へ繋げ</small>		
59～ 60	エピローグ 最終章② これまでの授業のまとめ	授業の内容についてクロストークしながら、会話とコミュニケーションの学びを確認② <small>講義の目的と自身の習熟を確認し、次なる自主学習へ繋げ</small>		
61～ 62	エピローグ 最終章③ これから「使う言葉を」考えてみよう	感想文の提出と。自身のこれからについて語ってみよう。 <small>会話の重要性の確認し、自成長するための突破策を考え</small>		
63～ 64	会話とコミュニケーションの授業総括	各人の学びを総括し、これからの実践と学ぶ意識を共有する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト無し。 毎回のテーマに沿ったプリントにて対応。		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
TOEIC演習 I		国際英米学科/1年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	60回	2単位(60時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
・36回分の集中講義を行う				
授業終了時の到達目標				
1. 7月のTOEIC-IPで400点以上取得する 2. 英語の基礎文法を完璧に理解し、運用できるようになる				
回	テーマ	内容		
1~6	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
7~12	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
13~18	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
19~24	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
25~30	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
31~36	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
37~42	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
43~48	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
49~54	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
55~60	単語テスト(8割合格) 模擬試験	単語テストは問題集シリーズから出題する。 模擬試験を行い英語の4要素を取り入れた見直しノートを作成・提出する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 公式TOEIC Listening & Reading問題集シリーズ		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
海外語学研修		国際英米学科/1年	2023/後学期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	160回	5単位(160時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
<p>アメリカ(モンタナ州・カリフォルニア州)の(協定大学附属の)語学校に通って英語力(文法や語彙)を高め、現地で実践することでコミュニケーション能力の向上を図ります。また、ホームステイやフィールドワークを通して多様な文化を体験し、日本や沖縄との違いについて考えます。また、他の学生と生活・行動を共にすることにより、協力・協議してグループでの研修を円滑に実現することを目指します。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海外の文化に触れ、外国人の前でも自信を持って発言できるようになる</li> <li>2. 英語で英語を学ぶことで、英語脳を作る</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1~8	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
9~16	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
17~24	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
25~32	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
33~40	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
41~48	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
49~56	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
57~64	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
65~72	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
73~80	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
81~88	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
89~96	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
97~104	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
105~112	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		
113~120	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる(グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む)		

回	テ ー マ	内 容		
121 ～ 128	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる（グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む）		
129 ～ 136	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる（グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む）		
137 ～ 144	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる（グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む）		
145 ～ 152	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる（グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む）		
153 ～ 160	ESL/Activities	* 派遣先のカリキュラムに準ずる（グループ活動やボランティア活動、プレゼン発表など含む）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
※参加する大学・コースによって異なる。		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	滞在中：語学学校への出席及び授業態度（30%） 帰国後：文化レポート（70%）

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
学校行事		国際英米学科/1年	2023/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	103回	0単位(103時間)	必須	城間 明香
授業の概要				
学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築く				
授業終了時の到達目標				
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。				
回	テーマ	内容		
1~103	自発的・自治的な集団活動への参加。	集団の一員としての自覚を深め、望ましい人間関係の形成を図る。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ShadowingⅢ		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	82回	3単位(82時間)	必須	屋比久 宮野

## 授業の概要

英語資格試験(英検、TOEIC)で求められるリスニング力、リーディング力、スピーキング力を身に付けるための授業である。Shadowingのトレーニングを通して、母語なまりなどの発音を改善する。また、連結などの実際の音韻現象の習得、ストレス、抑揚、リズム、ポーズなどの改善・向上を狙う。最終的に学習者は音声認識(音がわかる)と意味認識(内容を把握できる)ができる英語の基礎回路を作ることとする。

## 授業終了時の到達目標

1. 英語の正しい発音・イントネーションを身に着ける
2. リスニング力・スピーキング力の向上

回	テーマ	内容
1	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題1-①	新出単語の確認
2	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題1-②	本文の内容確認
3	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題1-③	本文をシャドーイング
4	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題2-①	新出単語の確認
5	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題2-②	本文の内容確認
6	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題2-③	本文をシャドーイング
7	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題3-①	新出単語の確認
8	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題3-②	本文の内容確認
9	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題3-③	本文をシャドーイング
10	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題4-①	新出単語の確認
11	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題4-②	本文の内容確認
12	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題4-③	本文をシャドーイング
13	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題5-①	新出単語の確認
14	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題5-②	本文の内容確認
15	教科書: TOEICテスト Part 3強化 問題5-③	本文をシャドーイング

回	テーマ	内 容
16	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 6-①	新出単語の確認
17	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 6-②	本文の内容確認
18	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 6-③	本文をシャドーイング
19	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 7-①	新出単語の確認
20	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 7-②	本文の内容確認
21	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 7-③	本文をシャドーイング
22	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 8-①	新出単語の確認
23	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 8-②	本文の内容確認
24	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 8-③	本文をシャドーイング
25	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 9-①	新出単語の確認
26	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 9-②	本文の内容確認
27	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 9-③	本文をシャドーイング
28	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 10-①	新出単語の確認
29	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 10-②	本文の内容確認
30	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 10-③	本文をシャドーイング
31	確認テスト①	問題 1-10 までの単語チェック
32	確認テスト②	問題 1-10 までの内容確認
33	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 11-①	新出単語・内容の確認
34	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 11-②	本文をシャドーイング
35	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 12-①	新出単語・内容の確認



回	テ ー マ	内 容
36	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 12-②	本文をシャドーイング
37	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 13-①	新出単語・内容の確認
38	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 13-②	本文をシャドーイング
39	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 14-①	新出単語・内容の確認
40	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 14-②	本文をシャドーイング
41	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 15-①	新出単語・内容の確認
42	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 15-②	本文をシャドーイング
43	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 16-①	新出単語・内容の確認
44	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 16-②	本文をシャドーイング
45	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 17-①	新出単語・内容の確認
46	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 17-②	本文をシャドーイング
47	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 18-①	新出単語・内容の確認
48	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 18-②	本文をシャドーイング
49	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 19-①	新出単語・内容の確認
50	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 19-②	本文をシャドーイング
51	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 20-①	新出単語・内容の確認
52	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 20-②	本文をシャドーイング
53	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 21-①	新出単語・内容の確認
54	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 21-②	本文をシャドーイング
55	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 22-①	新出単語・内容の確認

回	テーマ	内 容
56	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 2-②	本文をシャドーイング
57	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 3-①	新出単語・内容の確認
58	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 3-②	本文をシャドーイング
59	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 4-①	新出単語・内容の確認
60	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 4-②	本文をシャドーイング
61	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 5-①	新出単語・内容の確認
62	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 5-②	本文をシャドーイング
63	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 6-①	新出単語・内容の確認
64	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 6-②	本文をシャドーイング
65	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 7-①	新出単語・内容の確認
66	教科書：TOE I テスト Part 3 強化 問題 2 7-②	本文をシャドーイング
67	確認テスト①	問題 1 1-2 7 の単語テスト
68	確認テスト②	問題 1 1-2 7 の内容確認テスト
69	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 1-①	新出単語・内容の確認
70	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 1-②	本文をシャドーイング
71	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 2-①	新出単語・内容の確認
72	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 2-②	本文をシャドーイング
73	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 3-①	新出単語・内容の確認
74	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 3-②	本文をシャドーイング
75	教科書：TOE I テスト Part 4 強化 問題 4-①	新出単語・内容の確認

回	テーマ	内 容		
76	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題4-②	本文をシャドーイング		
77	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題5-①	新出単語・内容の確認		
78	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題5-②	本文をシャドーイング		
79	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題6-①	新出単語・内容の確認		
80	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題6-②	本文をシャドーイング		
81	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題7-①	新出単語・内容の確認		
82	教科書：TOEICテスト Part 4強化 問題7-②	本文をシャドーイング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 多読用教材「Graded Readers」 2. 読書記録手帳 3. TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー。		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Reading/Writing III		国際英米学科/2年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	72回	3単位(72時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>本講座は英語を運用する際の基礎となる英語の基本的事項(文法・語彙)を習得することを目的とする。特に文法は全ての技能の基礎となる知識なので正確な理解が求められる。この講義で学ぶ文法はそこまで難しくなく基礎的なもの(中学初級～中級レベル)とする。また、基礎文法を習得した後は英語のもう一つの基礎となる語彙を講義やミニテストなどを通じて身に付けてもらう。そして、身に着けた文法と語彙を実際に運用してもらえるようGraded readersや英検の過去問を使用する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文法や簡単な語彙を用いて自分の意見を簡単に言える・書けるようになる。</li> <li>長文を読んで内容を理解できる</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1～ 2	Unit 1 : Will you friend me?	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
3～ 4	Unit 1 : Will you friend me?	Reading 2		
5～ 6	Unit 1 : Will you friend me?	Vocabulary		
7～ 8	Unit 1 : Will you friend me?	Grammar & Draft 1		
9～ 10	Unit 1 : Will you friend me?	Revise writing Draft 2		
11～ 12	Unit 1 : Will you friend me?	Submit Final writing		
13～ 14	Unit 2 : Art for Everyone	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
15～ 16	Unit 2 : Art for Everyone	Reading 2		
17～ 18	Unit 2 : Art for Everyone	Vocabulary		
19～ 20	Unit 2 : Art for Everyone	Grammar & Draft #1		
21～ 22	Unit 2 : Art for Everyone	Revise writing Draft #2		
23～ 24	Unit 2 : Art for Everyone	Final writing		
25～ 26	Unit 3 : What's It Worth To You?	Extensive reading : 0.3 - Reading 1		
27～ 28	Unit 3 : What's It Worth To You?	Reading 2		
29～ 30	Unit 3 : What's It Worth To You?	Vocabulary		

回	テ ー マ	内 容
31~ 32	Unit 3 : What's It Worth To You?	Grammar & Draft 1
33~ 34	Unit 3 : What's It Worth To You?	Draft 2
35~ 36	Unit 3 : What's It Worth To You?	Final writing
37~ 38	Unit 4 : Open for Business	Extensive reading : 0.3 - Reading 1
39~ 40	Unit 4 : Open for Business	Reading 2
41~ 42	Unit 4 : Open for Business	Vocabulary
43~ 44	Unit 4 : Open for Business	Grammar & Draft 1
45~ 46	Unit 4 : Open for Business	Draft 2
47~ 48	Unit 4 : Open for Business	Final writing
49~ 50	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Extensive reading : 1.0 - Reading 1
51~ 52	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Reading 2
53~ 54	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Vocabulary
55~ 56	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Grammar & Draft1
57~ 58	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Draft 2
59~ 60	Unit 5 : What Are You Afraid Of?	Final writing
61~ 62	Unit 6 : What an Adventure!	Extensive reading : 1.0 - Reading 1
63~ 64	Unit 6 : What an Adventure!	Reading 2
65~ 66	Unit 6 : What an Adventure!	Vocabulary
67~ 68	Unit 6 : What an Adventure!	Grammar & draft 1
69~ 70	Unit 6 : What an Adventure!	Draft2

回	テ ー マ	内 容		
71~ 72	Unit 6 : What an Adventure!	Final writing		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. North Star 1 Reading & Writing / Pearson。 2. 英検過去問 3. 多読本 (Graded Readers)		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Reading/Writing IV		国際英米学科/2年	2023/中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	36回	1単位(36時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>文法事項習得に重点を置いた一年次のReadling/Writing I&amp;IIとは異なり、ReadingとWritingの二つの技能により重点をおいた科目である。どちらの技能も、いかにして効率的かつ効果的に読み/書きするかという質的側面と、いかに大量の英語を読み/書きするかという量的側面の二つの側面から強化されることになる。Readingについては、正確に読む精読だけでなく、必要な情報だけを素早く読み取るScanning、細かいことは抜きにして重点のみを読み取るSkimmingといった読解技術(読み方)が身に付けられるよう指導し、質的向上を目指す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校英語レベルの文法や英検2級レベルの語彙を用いて自分の意見を言える・書けるようになる</li> <li>2. 英検2級レベルの長文を100wpmで読めるようになる</li> <li>3. 長文を読んで内容を理解できる、その説明ができる</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1~2	Unit 7 : What number are you?	Extensive reading level 1.0 - 1.5 Reading 1		
3~4	Unit 7 : What number are you?	Reading 2		
5~6	Unit 7 : What number are you?	Vocabulary		
7~8	Unit 7 : What number are you?	Make a vocabulary list		
9~10	Unit 7 : What number are you?	Vocabulary quiz Final writing task		
11~12	Unit 7 : What number are you?	Final writing task draft		
13~14	Unit 7 : What number are you?	Final writing task draft		
15~16	Unit 7 : What number are you?	Grade : Final writing task		
17~18	Unit 7 : What number are you?	Unit project 1		
19~20	Unit 7 : What number are you?	Unit project 2		
21~22	Review	前ユニットの振り返り		
23~24	Unit 8 : How young is too young?	Extensive reading level 1.0 - 1.5 Reading 1		
25~26	Unit 8 : How young is too young?	Reading 2		
27~28	Unit 8 : How young is too young?	Vocabulary		
29~30	Unit 8 : How young is too young?	Make a vocabulary list		

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Unit 8 : How young is too young?	Vocabulary quiz Final writing task		
33~ 34	Unit 8 : How young is too young?	Final writing task draft		
35~ 36	Unit 8 : How young is too young?	Final writing task 2		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. North Star 1 Reading & Writing / Pearson 2. 英検2級過去問・ 3. 多読本 (Graded Readers) 4. その他handout (英語新聞など)		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	



## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Listening/Speaking III		国際英米学科/2年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	72回	3単位(72時間)	必須	安仁屋クリスティーナさくら
授業の概要				
この科目はListening/Speaking I&IIで習得した英語を話す能力をさらに伸ばすことを目的とする。内容としては主として、日常会話やプレゼンテーション、議論などの7倍における話し方に重点を置く。また、効果的なリスニング技法や、多彩な会話場面に対応できるリスニング能力を獲得できるよう、体系的な方法でリスニング力強化を目指す。				
授業終了時の到達目標				
1. 英語で与えられた指示やトピックを理解し、英語を用いてそれに対する自分の意見を言えるようになる				
回	テーマ	内容		
1	TP0に合った身なりについて①	英会話を聞き、テーマである『面接時の髪型』について会話の内容を含め、グループ内でディスカッションし意見をまとめる		
2	TP0に合った身なりについて②	各項目で自身の考えを英語でまとめ、グループで意見交換を行う。		
3	TP0に合った身なりについて③	TP0に合った身なりについて③	身なりについて各国の違いを学ぶ。	
4	TP0に合った身なりについて④	『身なり』をテーマにそれぞれの項目で英語プレゼンを行う。		
5	TP0に合った身なりについて④	『身なり』をテーマにそれぞれの項目で英語プレゼンを行う。		
6	買い物について①	リスニング練習・内容確認・ロールプレイ		
7	買い物について②	買い物の中で使われる英語表現を習得		
8	買い物について③	様々な場面を想定し、そこでの対応の仕方などを考える		
9	買い物について④	万引きについて意見をまとめる		
10	買い物について⑤	友達との良い関係性を継続させていくためには何が必要かを考えプレゼンを考える		
11	買い物について⑥	『友情関係』をテーマにそれぞれの項目で英語プレゼンを行う。		
12	買い物について⑦	『友情関係』をテーマにそれぞれの項目で英語プレゼンを行う。		
13	中毒について①	リスニングプラクティス、内容確認、ロールプレイ		
14	中毒について②	自身の一日の生活パターンから中毒とみられるものを見つける(スマホ、テレビなど)		
15	中毒について③	アンケートの実施(食べ物、ゲーム、SNSなど日常生活に溢れる様々な中毒を理解する)		

回	テ ー マ	内 容
16	中毒について④	リスニングプレクティス(中毒患者へのインタビュー)、内容確認
17	中毒について⑤	中毒について⑤ 中毒に対する対策を考え、プレゼンを作成
18	中毒について⑥	『中毒への対処』をテーマに英語プレゼンを行う
19	中毒について⑦	『中毒への対処』をテーマに英語プレゼンを行う
20	SNSアイドルについて①	リスニングプレクティス、内容確認、ロールプレイ
21	SNSアイドルについて②	SNSアイドルに必要な要素を考える
22	SNSアイドルについて③	自身がオススメなSNSアイドルを具体的に説明する
23	SNSアイドルについて④	『SNSアイドル』について英語プレゼンを行う
24	SNSアイドルについて⑤	『SNSアイドル』について英語プレゼンを行う
25	割り勘orおごり①	日本での割り勘・おごりを考える(男女のデートなど)
26	割り勘orおごり②	各国でのデートマナーについて学ぶ①
27	割り勘orおごり③	各国でのデートマナーについて学ぶ②
28	割り勘orおごり④	アンケート『様々な場面でどう対応するか』 デートで男子が女子を誘った時や反対の場合
29	割り勘orおごり⑤	自身の意見をまとめ、プレゼンテーションを作成
30	割り勘orおごり⑥	『おごりor割り勘』について英語プレゼンを行う
31	割り勘orおごり⑦	『おごりor割り勘』について英語プレゼンを行う
32	愛情表現について①	リスニングプラクティス、内容理解、ロールプレイ
33	愛情表現について②	告白や愛情表現の仕方、言葉遣い
34	愛情表現について③	他国との違いを学ぶ
35	愛情表現について④	文法の習得『What do you think of~』

回	テ ー マ	内 容
36	愛情表現について⑤	恋人同士の言動の違いについて学ぶ
37	愛情表現について⑥	『愛情表現』について英語プレゼンを行う
38	愛情表現について⑦	『愛情表現』について英語プレゼンを行う
39	家族について①	リスニングプラクティス、内容確認、ロールプレイ
40	家族について②	日本の典型的な家族関係について考える
41	家族について③	家族の関係性について考える
42	家族について④	『家族に対する価値観の違い』をテーマにディスカッションを行う
43	家族について⑤	『家族に対する価値観の違い』をテーマにディスカッションを行う
44	家族について⑥	文法の習得 『Do you agree with~?』
45	家族について⑦	『家族』をテーマに英語プレゼンを行う
46	家族について⑧	『家族』をテーマに英語プレゼンを行う
47	家族について⑨	『家族』をテーマに英語プレゼンを行う
48	恋愛について①	リスニング、内容確認、ロールプレイ
49	恋愛について②	各国での出会いの違いについて知る(SNSなど)
50	恋愛について③	文法の習得 『What's your idea?』 『What do you think?』
51	恋愛について④	恋人に求める条件などをディスカッションする
52	恋愛について⑤	グループ内で意見をまとめ発表する
53~ 54	恋愛について⑥	プレゼン作成 『What's important for you in relationship』
55~ 56	恋愛について⑦	プレゼン発表 『What's important for you in relationship』
57~ 58	祖父母との関係性①	リスニングプラクティス、内容確認、ロールプレイ

回	テ ー マ	内 容		
59	祖父母との関係性②	祖父母との関係について、グループでディスカッションを行う		
60	祖父母との関係性③	祖父母との関係について、グループで発表する		
61	祖父母との関係性④	文法習得『What do you believe?』		
62	祖父母との関係性⑤	家族とのコミュニケーション手段についてディスカッションを行う		
63	祖父母との関係性⑥	アンケートの実施		
64	祖父母との関係性⑦	プレゼン作成 『How do you keep in touch with your family?』		
65	祖父母との関係性⑧	プレゼン発表 『How do you keep in touch with your family?』		
66	ファンについて①	リスニング、内容確認、ロールプレイ		
67	ファンについて①	リスニング、内容確認、ロールプレイ		
68	ファンについて②	仮装についてをグループでディスカッションを行う		
69	ファンについて③	仮装についてをグループでディスカッションを行う		
70	ファンについて④	英語表現①		
71	ファンについて⑤	英語表現②		
72	ファンについて⑥	自身が好きなものについてペアで話す		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. Impact Issues 1 / Pearson・ 2. Impact Issues 2 / Pearson		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Listening/Speaking IV		国際英米学科/2年	2023/中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	36回	1単位(36時間)	必須	アンドリュー パンジリナン
授業の概要				
この科目はListening/Speaking IIIの発展科目である。第一の目標は、さまざまな会話場面にふさわしい「丁寧さ」を表現する力を身に付けることである。第二の目標は、口頭発表や報告、プレゼンテーションを流暢な英語で行うことができる力を養うことである。また、本授業ではListening/Speaking IIIで学んだ議論の仕方についての基本や技術を発展させ、ディベートの基礎も併せて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
1. 英語を用いて自分の意見や考えを丁寧に言えるようになる 2. 口頭発表や報告、プレゼンテーションを流暢な英語で行えるようになる				
回	テーマ	内容		
1	環境問題について	リスニング、内容理解、パターンプラクティス		
2	環境問題について	新出単語・文法の習得		
3	環境問題について	若者が環境問題についてできることについて自身の考えをまとめる		
4	環境問題について	若者が環境問題についてできることについて自身の考えをまとめる		
5	環境問題について	グループ内でディスカッションを行い、内容をまとめる		
6	環境問題について	グループ内でディスカッションを行い、内容をまとめ発表を行う		
7	環境問題について	『What I will do for the environment』をテーマにプレゼンを作成する		
8	環境問題について	『What I will do for the environment』をテーマにプレゼンを作成する		
9	環境問題について	『What I will do for the environment』をテーマに各自プレゼンを行う		
10	環境問題について	『What I will do for the environment』をテーマに各自プレゼンを行う		
11	就職について	リスニング、内容理解、パターンプラクティス		
12	就職について	新出単語・文法の習得		
13	就職について	Value of a job について自身の優先順位を考える		
14	就職について	Value of a job についてグループでディスカッションを行う		
15	就職について	Value of a job についてグループで発表を行う		

回	テ ー マ	内 容		
16	就職について	『Your life goals』について各自グループで発表する		
17	就職について	『Your life goals』について各自グループで発表する		
18	ウソについて	リスニング、内容理解、パターンプラクティス		
19	ウソについて	新出単語・文法の習得		
20~ 21	ウソについて	『What are some reasons not to tell the truth?』について様々なシチュエーションで考える		
22~ 23	ウソについて	『What are some reasons not to tell the truth?』について自身の考えを発表する		
24	信じる?信じない?	新出単語・文法の習得		
25	信じる?信じない?	リスニング、内容理解、パターンプラクティス		
26	信じる?信じない?	神の助言について信じるか、信じないかをディスカッションを行う		
27	信じる?信じない?	『What should you do if you hear a voice to tell the truth?』		
28	信じる?信じない?	『What should you do if you hear a voice to tell the truth?』		
29	出産について	リスニング、内容理解、パターンプラクティス		
30	出産について	新出単語・文法の習得		
31	出産について	『benefit and drawbacks of having children』についてグループでディスカッションを行う		
32	出産について	『benefit and drawbacks of having children』についてグループでディスカッションを行う		
33	出産について	『What are reasons to have or not have children?』について自身の考えをグループ内で発表する		
34	出産について	『What will your future family be like?』についてプレゼンを作成する		
35	出産について	『What will your future family be like?』についてプレゼンを作成する		
36	出産について	『What will your future family be like?』について各自プレゼンを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. Impact Issues 1 / Pearson・ 2. Impact Issues 2 / Pearson		出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英検・TOEIC対策-Ⅲ		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	54回	2単位(54時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>英検2級AやTOEIC600点を取得するためにリーディングパートの対策を中心に進めていく。必要な英文法や単語力の対策を行う。これらの文法事項は“しっかり身に着けておけば、英語運用の際に必要な最低限の英文法の知識は保障される”と言われる範囲である。必要な文法・語彙解説のあとは、膨大な量の問題を解いてもらうことになる。英検・TOEIC合わせて800問程度解くことになるため、放課後の時間も学習することが求められる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 6月 英検2級A合格</li> <li>2. 7月 TOEIC 600点取得</li> <li>3. 英検準1級レベルの文章を読んで理解できる</li> <li>4. 大学入試レベルの文法を運用しながらアウトプット（ライティング・スピーキング）ができる</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading4 TEST1		
2	TOEIC模擬試験見直し・解説	公式問題集Listening & Reading4 TEST1		
3	TOEIC模擬試験見直し・解説	公式問題集Listening & Reading4 TEST1		
4	英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.1、準1級：英作文		
5	英検対策（2級・準1級） 英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.1、準1級：英作文		
6	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.1、2級：英作文		
7	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.1、2級：英作文		
8	英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.2、準1級：英作文		
9	英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.2、準1級：英作文		
10	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.2、2級：英作文		
11	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.2、2級：英作文		
12	英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.3、準1級：英作文		
13	英検対策（2級・準1級）	2級：英検過去問2019.3、準1級：英作文		
14	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.3、2級：英作文		
15	英検対策（2級・準1級）	準1級：英検過去問2019.3、2級：英作文		

回	テ ー マ	内 容
16	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading5 TEST2
17	TOEIC模擬試験見直し・解説	公式問題集Listening & Reading5 TEST2
18	TOEIC模擬試験見直し・解説	公式問題集Listening & Reading5 TEST2
19	TOEIC模擬試験見直し・解説	公式問題集Listening & Reading5 TEST2
20	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
21	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
22	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
23	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
24	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
25	英検対策（2級・準1級）	英検二次対策（面接練習・グループワーク）
26	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading4 TEST1&2 Reading解説
27	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading4 TEST1&2 Reading解説
28	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading5 TEST1
29	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading5 TEST1
30	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading5 TEST1
31	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading6 TEST1
32	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading6 TEST1
33	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading6 TEST1
34	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading6 TEST2
35	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading6 TEST2



回	テ ー マ	内 容		
36	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading6 TEST2		
37	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading7 TEST1		
38	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading7 TEST1		
39	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading7 TEST1		
40	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading7 TEST2		
41	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading7 TEST2		
42	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading7 TEST2		
43	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading8 TEST1		
44	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading8 TEST1		
45	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading8 TEST1		
46	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading8 TEST2		
47	TOEIC対策	公式問題集Listening & Reading8 TEST2		
48	TOEIC模擬試験	公式問題集Listening & Reading8 TEST2		
49	英検対策（準1級）	準1級：英作文		
50	英検対策（準1級）	準1級：英検過去問2022.1		
51	英検対策（準1級）	準1級：英検過去問2022.2		
52	英検対策（準1級）	準1級：英検過去問2021.3		
53	英検対策（準1級）	準1級：英検過去問2021.2		
54	英検対策（準1級）	準1級：英検過去問2021.1		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. 公式TOEIC Listening&Reading問題集4		出席率 授業態度 確認テスト	20.0%	
2. 公式TOEIC Listening&Reading問題集5				
3. 公式TOEIC Listening&Reading問題集6				
4. 公式TOEIC Listening&Reading問題集7				
5. 公式TOEIC Listening&Reading問題集8				
6. 2022年度版 英検準1級 過去6回全問題集				

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
VR スマートチューター		国際英米学科/2年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	24回	1単位(24時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
VR空間で個々のレベルに合った英語力を伸ばす。 授業終了後には発音、要約力、コミュニケーション力を習得することが期待される。				
授業終了時の到達目標				
中上級のレベルに到達する。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	導入・オリエンテーション	企業とオンラインで活用方法説明		
3	アンケート実施	各自の語学力を指定		
4~ 5	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
6~ 7	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
8~ 9	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
10~ 11	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
12~ 13	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
14~ 15	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
16~ 17	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
18~ 19	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
20~ 21	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
22~ 23	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
24	VRでのオンライン英会話実施	各自のレベルに合わせた内容で実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Smart Tutor / + One		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

回	テ ー マ	内 容		

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
English Circle		国際英米学科/2年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	36回	1単位(36時間)	必須	アンドリュー パンジリナン
授業の概要				
<p>この授業では「楽しく英語を学ぶ」をコンセプトとして様々なアクティビティ、イベント、チャットなどを行います。勉強のための英語教育ではなく、コミュニケーションのための英語教育を自然に近い状況で行うことで学生たちの学習意欲を上げることを目標としています。</p> <p>Theme : To enjoy speaking English and accept different opinions.</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>1. 自然な英会話をできるようになる/To be able to speak English more comfortably.  2. 国際社会でのマナー、文化を習得し、国際人として必要な素養を身に付ける。/ To understand cultural differences and manners.</p>				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Introduction	Class rules 1. Don't be afraid of making mistakes. 2. <del>Keep speaking English between classmates.</del>		
3~ 4	Favorite things	Listen well and ask good questions.		
5~ 6	Gestures	Understand the differences and acquire.		
7~ 8	Movies	Talk about your favorite movies and actors.		
9~ 10	Music	Share your favorite music.		
11~ 12	What should I do?	Ask for good suggestions from classmates.		
13~ 14	Recent buzz	Talk about recent trends and their pros and cons.		
15~ 16	News	Discuss about recent news both in the nation and the world.		
17~ 18	Volunteer work and field trip	Have you ever joined any volunteer work? Let's talk about them.		
19~ 20	Customer service	Study about key phrases for service industry. Play a skit with classmates.		
21~ 22	Talking on the phone	Speak clearly and listen well.		
23~ 24	Trip	Talk about the countries you wish to visit and share your to-do's.		
25~ 26	Food	Talk about your favorite, memorable and bizzare food in your life.		
27~ 28	What is your dream?	Imagine yourself in 5 years, 10 years, and even 25 years!		
29~ 30	Messages to classmates.	Give your classmates fun awards.		

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Messages to classmates.	Give your classmates fun awards.		
33~ 34	Messages to classmates.	Give your classmates fun awards.		
35~ 36	Messages to classmates.	Give your classmates fun awards.		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. English Circleオリジナルプリント・		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
COURSERA		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	30回	1単位(30時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>COURSERAという無料のオンライン教育サービスを使用し、主に語学力を更に高めたい学生向けの授業です。本授業は学生たちが自主的に英語で何かを勉強する習慣を身につけることを目的としております。また、留学希望者に対しては、留学した際にどれぐらいの英語力が求められるか理解して頂くことを目的とします。学生たちはサティフィケート(コース修了書)がもらえる有料のコースから興味のあるものを選び、自主的に学びます。ほとんどのコースが週4~5時間程度の学習が必要になります。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海外大学のサティフィケート(修了書)を得る</li> <li>2. 海外留学に求められる英語力を身につける</li> <li>3. 「英語で何かを学ぶ」姿勢を身につける</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1~2	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
3~4	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
5~6	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
7~8	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
9~10	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
11~12	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
13~14	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
15~16	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
17~18	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
19~20	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
21~22	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
23~24	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
25~26	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
27~28	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		
29~30	Online Course	選択したコースのカリキュラムに準ずる		

回	テ ー マ	内 容		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	オンライン教材「COURSERA」・	出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザインⅡ（就職・留学対策）		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	45回	1単位(45時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>進学・就職ともに自分の目標達成への工程において自身の課題を見つけ、解決に取り組む。進路に向けて相談したいことは周りにいる家族、クラスメイトや友人、職員へオープンにし、前向きに取り組む姿勢を持ち続けること。</p> <p>自分で「問題解決をする力」を主軸としたパーソナリティと学力の双方の向上に取り組み、2年次の集大成へ向かう。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>年内(12月)の進路決定</p> <p>【注意】</p> <p>年内に進路未決定の学生は冬季自主活動期間、後期1月～3月まで登校がある。</p> <p>留学を目指す学生は卒業後も定期的に登校し、渡航準備を行う。</p>				
回	テーマ	内容		
1～2	選択基準の明確化	ワーク 企業の絞り込み(最大10社)		
3～4	選択基準の明確化	振り返り・情報共有		
5～6	企業の選択・決定①	グループディスカッション スケジュール作成		
7～8	企業の選択・決定②	エントリーシート作成		
9～10	就職スキルの向上①	グループディスカッション 面接とは、自己PRとは		
11～12	就職スキルの向上②	グループディスカッション 面接とは、自己PRとは		
13～14	就職スキルの向上③	個人ワーク&グループワーク どのような自己PRにしたいかを考える		
15～16	就職スキルの向上④	個人ワーク&グループワーク 表現力の磨き方を理解する。		
17～18	就職スキルの向上⑤	個人ワーク&グループワーク 履歴書の書き方を知る。		
19～20	就職スキルの向上⑥	グループディスカッション 志望動機作成のポイントを理解する。		
21～22	就職スキルの向上⑦	どのような履歴書にしたいかについて考える。 良い履歴書って？		
23～24	研修の事前学習①	検証期の目的と内容を把握する。 就職研修の目的と内容を把握する。		
25～26	研修の事前学習②	研修内容の体験 グループディスカッション		
27～28	研修の事前学習③	相手の意見や質問をきちんと聴き理解する 自分の意見をできるだけ分かりやすく伝える		
29～30	研修の実践	就職研修 筆記試験		



回	テーマ	内 容		
31～ 32	研修の実践	就職研修 筆記試験		
33～ 34	研修の実践	就職研修 ・ Who am I		
35～ 36	研修の実践	就職研修 ・ プレスト&グループディスカッション		
37～ 38	研修の実践	就職研修 ・ 模擬面接①		
39～ 40	研修の実践	就職研修 ・ 模擬面接②		
41～ 42	研修での実践・検証①	就職研修のふりかえりを行い、自分の表現力を把握する。 課題設定及びスケジュールリングを行う。		
43～ 44	研修での実践・検証②	就職研修のふりかえりを行い、自分の表現力を把握する。 課題設定及びスケジュールリングを行う。		
45	就職スキルの向上①	"グループディスカッション 職場で嫌なことがあっても"		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
①ポートフォリオ ②検定や課題（必要時）		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
リテールマーケティング		国際英米学科/2年	2023/前学期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	48回	1単位(48時間)	必須	福島 優
授業の概要				
<p>1. マーチャンダイジングを意識し、小売業の特徴や基本知識を習得し実務において店舗運営・戦略を理解し取り組むことができるようになる。</p> <p>2. パワーポイントを活用し、ストアコンセプトやリージョナルプロモーションのイメージを持たせる。</p> <p>3. 過去問演習、個別答練の実施。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>1. 顧客に対し、単に販売を行うではなく、学んだ知識を実際に活用して売場づくりを行えるようになる</p> <p>2. 検定取得を通して、単に売買という視点だけでなく、組織にとって有益な情報を獲得できる下地を伸ばしていく。</p> <p>3. 目の前のものをただ取り扱うのではなく、組織を把握することで今後も自ら興味関心の持てることから改善・工夫に挑むベースを築き、それを継続的に行える人物に成長させる。</p>				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	オリエンテーション	小売業概要説明		
3~ 4	第1編 小売業の類型 小売業の基本	小売業とは何か 中小企業の現状と役割		
5~ 6	組織小売業の基本	組織小売業の種類と特徴 チェーンストアの基本的役割 インバウンドと社会と小売業		
7~ 8	店舗形態別小売業の基本的役割 商業集積の基本	小売業態の基本知識 店舗形態別小売業の企保知識 産店街の現状と特徴		
9~ 10	第2編 マーチャンダイジング 商品の基本	商品とは何か 商品の分類		
11~ 12	マーチャンダイジングの基本 商品計画の基本	マーチャンダイジングの基本的考え方 商品計画の基本知識		
13~ 14	販売計画及び仕入計画などの基本 価格設定の基本	販売計画策定の基本知識 物流の基本知識 価格の設定要因と価格政策		
15~ 16	在庫管理の基本知識 販売管理の基本	在庫管理の基本知識 販売管理の基本知識		
17~ 18	第3編 ストアオペレーション ストアオペレーションの基本	ストアオペレーション・サイクル 回転準備の業務 インバウンド業務		
19~ 20	包装技術の基本 ディスプレイの基本	包装の意義と目的 包装の種類と方法 ディスプレイの目的と基本的役割		
21~ 22	第4編 マーケティング 小売業のマーチャンダイジングの基本	小売業のマーチャンダイジングの基本知識 4P理論の小売業への適用		
23~ 24	顧客満足経営の基本 商圈の設定と出店の基本	顧客満足経営の基本知識 商圈の基本知識		
25~ 26	リージョナルプロモーションの基本	リージョナルプロモーションの体系 インバウンド		
27~ 28	顧客志向型売場作りの基本	売場づくりの基本知識 店舗照明の基本知識		
29~ 30	第5編 販売・経営管理 販売員の役割の基本	接客マナー クレームや返品への対応		

回	テーマ	内容		
31～ 32	販売員の法令知識 小売業の計数管理	小売業に関する主な法規 販売員に求められる計数管理		
33～ 34	店舗管理の基本	金券類の扱いと金銭管理の基本知識 衛星管理の基本知識		
35～ 36	確認テスト	過去問使用予定		
37～ 38	確認テスト	過去問使用予定		
39～ 40	確認テスト	過去問使用予定		
41～ 42	確認テスト	過去問使用予定		
43～ 44	確認テスト	過去問使用予定		
45～ 46	確認テスト	過去問使用予定		
47～ 48	確認テスト	過去問使用予定		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1. レクチャー&トレーニング 日商リ テールマーケティング（販売士）検定試験 3級		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
探究学習		国際英米学科/2年	2023/前学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	54回	2単位(54時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
授業終了時の到達目標				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Project launch			
3~ 4	Essential questions 1	Homework :		
5~ 6	Brainstorming 1			
7~ 8	Critique 1			
9~ 10	Drafting & Revision 1			
11~ 12	Exhibition 1			
13~ 14	Assessment 1			
15~ 16	Reflection 1			
17~ 18	Essential questions 2			
19~ 20	Brainstorming 2			
21~ 22	Critique 2			
23~ 24	Drafting & Revision 2			
25~ 26	Exhibition 2			
27~ 28	Assessment 2			
29~ 30	Reflection 2			

回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	Essential questions 3			
33~ 34	Brainstorming 3			
35~ 36	Brainstorming 3			
37~ 38	Critique 3			
39~ 40	Drafting & Revision 3			
41~ 42	Exhibition 3			
43~ 44	Assessment 3			
45~ 46	Reflection 3			
47~ 48	Presentation preparation			
49~ 50	Presentation preparation			
51~ 52	Presentation			
53~ 54	Reflection	Throughout the presentation, reflect what we have learned from the project.		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ディスカッション		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	30回	1単位(30時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
この授業では、ディスカッションやパブリック・スピーキングの基本的考え方を紹介し、ディスカッション実施に向けての準備を行う。論理的に物事を考えて意見を言う力を養うだけでなく実践にも重点をおき、実際にディスカッションをする際に役立つ表現、要素、技能などを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
1. ディスカッションの社会的価値を認識する 2. 物事を論理的に考えられるようになる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Jury systems	Stella case		
3~ 4	Jury systems 2	Stella case		
5~ 6	Discussion writing	Stella case		
7~ 8	Discussion writing 2	Stella case		
9~ 10	NASA game	Consensus		
11~ 12	NASA game 2	Consensus		
13~ 14	Discussion writing	Consensus		
15~ 16	Discussion writing 2	Consensus		
17~ 18	Jury systems II	Haunted House		
19~ 20	Jury systems II-2	Haunted House		
21~ 22	Discussion writing	Haunted House		
23~ 24	Discussion writing 2	Haunted House		
25~ 26	Group discussion	Entertainment		
27~ 28	Group discussion 2	Entertainment		
29~ 30	Discussion writing	Entertainment		

回	テーマ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	ディスカッションハンドアウト	出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業論文A		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	102回	3単位(102時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<p>学生たちが自分たちで設定した特定のテーマについて調べ、それについて英語で論文をまとめ、発表する。学生が文献や資料を調べるだけでなく、フィールドワークなどを通して学生が体験的に学ぶことを目標とする。</p> <p>評価は提出物と最後のプレゼンの出来を評価する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の興味あるフィールドについて深く調べることができる</li> <li>2. 自分の意見を論理的に説明できるようになる</li> <li>3. 情報を鵜呑みにせず、自ら考える力を身に付ける</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1~ 2	趣旨の説明	卒論についての趣旨、内容選びの重要性などの説明		
3~ 4	テーマ選び①	卒論のテーマとして例を挙げ、どのようなものがテーマとしてふさわしいのかを講義形式で行う		
5~ 6	テーマ選び②	卒論のテーマとして例を挙げ、どのようなものがテーマとしてふさわしいのかを講義形式で行う		
7~ 8	テーマ選び③	各自インターネットや課外活動で自身のテーマを選ぶ		
9~ 10	テーマ選び④	テーマの決定		
11~ 12	情報収集①	情報収集のやり方、信頼度、偏った意見など例を挙げ説明する		
13~ 14	情報収集②	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
15~ 16	情報収集③	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
17~ 18	情報収集④	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
19~ 20	情報収集⑤	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
21~ 22	情報収集⑥	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
23~ 24	情報収集⑦	各自インターネットや課外活動で情報を収集する		
25~ 26	アウトラインの作成①	集めた情報を元に、自身の仮説を立て、それに沿ったアウトラインを作成する		
27~ 28	アウトラインの作成②	作成時間		
29~ 30	アウトラインの作成③	作成時間		



回	テ ー マ	内 容
31～ 32	アウトラインの作成④	アウトラインを提出
33～ 34	アウトラインの作成⑤	提出したアウトラインを確認、必要に応じて添削、アドバイスをを行う
35～ 36	アウトラインの作成⑥	提出したアウトラインを確認、必要に応じて添削、アドバイスをを行う
37～ 38	アウトラインの作成⑦	提出したアウトラインを確認、必要に応じて添削、アドバイスをを行う
39～ 40	アウトラインの作成⑧	アウトラインで不足していた部分などがあれば、情報収集を行い追加する
41～ 42	アウトラインの作成⑨	アウトラインで不足していた部分などがあれば、情報収集を行い追加する
43～ 44	アウトラインの作成⑩	アウトラインで不足していた部分などがあれば、情報収集を行い追加する
45～ 46	論文の構成について説明①	序論、本論、結論など論文構成に必要な要素を説明
47～ 48	論文の構成について説明②	序論、本論、結論など論文構成に必要な要素を説明
49～ 50	論文の構成について説明③	例を挙げながら書き方を説明
51～ 52	論文の構成について説明④	例を挙げながら書き方を説明
53～ 54	論文書き出し①	各自論文の作成を行う
55	論文書き出し②	
56	論文書き出し③	
57	論文書き出し④	
58	論文書き出し⑤	
59	論文書き出し⑥	
60	論文書き出し⑦	
61	論文書き出し⑧	
62	論文書き出し⑨	

回	テ ー マ	内 容
63	論文書き出し⑩	
64	ファーストドラフトの確認	提出した論文の内容を確認
65	ファーストドラフトのフィードバック	論文に対するアドバイスを行う
66	ファーストドラフトのフィードバック	論文に対するアドバイスを行う
67	論文の修正①	アドバイスを元に論文に追加の情報、意見などを加えていく
68	論文の修正②	
69	論文の修正③	
70	論文の修正④	
71	2回目の提出	再度確認し、追加でアドバイスを行う
72	2回目提出のフィードバック①	
73	2回目提出のフィードバック②	
74	論文の書き上げ①	
75	論文の書き上げ②	
76	論文の書き上げ③	
77	論文の書き上げ④	
78	論文の書き上げ⑤	
79	プレゼン作成①	論文からプレゼン形式に文章を変え、英語プレゼンの作成を行う
80	プレゼン作成②	パワーポイントの作り方を説明
81	プレゼン作成③	プレゼン、パワーポイントのスライド作成を行う
82	プレゼン作成④	

回	テ ー マ	内 容		
83～ 84	論文のプレゼン、パワーポイントの提出			
85～ 86	発表①	各自パワーポイントを活用し英語でプレゼンを行う		
87～ 88	発表②			
89～ 90	卒論の振り返り	自身のプレゼンに対する振り返りを行う		
91～ 102	卒論の振り返り②	自身のプレゼンに対する振り返りを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし・		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 10.0% 70.0%	

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
TOEIC演習Ⅱ		国際英米学科/2年	2023/前, 中学期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	80回	3単位(80時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/17~7/30の間(土日をのぞく)1日6コマ、60回分の集中講義を行う</li> <li>・英語の基礎文法について学ぶ(20回分)</li> <li>・TOEIC試験の対策を実施する。リスニング・リーディング問の訓練を問題集にまとめられた教材中心に進めていく(40回分)</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 7月のTOEIC-IPで600点以上取得する</li> <li>2. 英語の基礎文法を完璧に理解し、運用できるようになる</li> </ol>				
回	テーマ	内容		
1	Vocabulary & Shadowing 1	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3		
2~4	Mock exam	新形式対応編 Test 1		
5~6	見直し	見直しノート作成・提出		
7	Vocabulary & Shadowing 2	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3		
8~10	Mock exam	新形式対応編 Test 2		
11~12	見直し	見直しノート作成・提出		
13	Vocabulary & Shadowing 3	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3		
14~16	Mock exam	新形式対応編 ミックステスト		
17~18	見直し	見直しノート作成・提出		
19	Vocabulary & Shadowing 4	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3		
20~22	Mock exam	新形式対応編 ミックステスト		
23~24	見直し	見直しノート作成・提出		
25	Vocabulary & Shadowing 5	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3		
26~28	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 4 Test 1		
29~30	見直し	見直しノート作成・提出		

回	テーマ	内容
31	Vocabulary & Shadowing 6	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3
32~ 34	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 4 Test 2
35~ 36	見直し	見直しノート作成・提出
37	Vocabulary & Shadowing 7	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3
38~ 40	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 5 Test 1 & 2 ミックステスト
41~ 42	見直し	見直しノート作成・提出
43	Vocabulary & Shadowing 8	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3
44~ 46	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 5 Test 1 & 2 ミックステスト #2
47~ 48	見直し	見直しノート作成・提出
49	Vocabulary & Shadowing 9	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3
50~ 52	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 6 Test 1
53~ 54	見直し	見直しノート作成・提出
55	Vocabulary & Shadowing 10	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー Part 3
56~ 58	Mock exam	公式TOEIC Listening & Reading問題集 6 Test 2
59~ 60	見直し	見直しノート作成・提出
61		
62		
63		
64		
65		

回	テ ー マ	内 容		
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	1. TOEICテスト公式問題集 新形式対応編 / IIBC・ 2. 公式TOEIC Listening & Reading問題集 4 / IIBC 3. 公式TOEIC Listening & Reading問題集 5 / IIBC	出席率 授業態度 確認テスト	20.0% 10.0% 70.0%	県内大手小売業者 や海外のリゾート ホテルで英語で接客業を担当していたので、実際に現場で使える英語を

## シラバス・コマシラバス

令和5年度

専門学校那覇日経ビジネス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
学校行事		国際英米学科/2年	2023/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	62回	0単位(62時間)	必須	屋比久 宮野
授業の概要				
学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築く				
授業終了時の到達目標				
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。				
回	テーマ	内容		
1～62	自発的・自治的な集団活動への参加。	集団の一員としての自覚を深め、望ましい人間関係の形成を図る。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他